

【山都町人権を考える町民の集い】

日時：7月28日(火)

18時30分～(開会)

場所：矢部保健福祉センター千寿苑(多目的ホール)

どなたでも参加できます。入場無料

演題：「ひとごと」から「わがこと」へ ～語り合い、夢を託す～

もりぐち けんじ
講師：森口 健司 さん (T-over 人権教育研究所・人権
こども塾共同代表)



【森口さんからのメッセージ】

私は、徳島県内の同和地区に生まれ育ちました。部落問題との出会いは、中学2年生の時の同和対象地区学習会でした。その中で、部落の友人が語ってくれた「部落差別をなくすために教師になろう」という言葉は、私の人生を大きく方向づけるものとなりました。しかし、高校時代の私は、自らの出身を隠し続けていました。卒業後は故郷を離れ、京都の大学へ進学します。部落から逃げるような思いで過ごした4年間でしたが、そこで私が目にしたのは、日常の中で繰り返される差別発言や差別行為でした。その現実に触れ、私は部落差別の深刻さを痛いほど思いしらされました。大学卒業後、私は、部落問題と真正面から向き合う教師になろうと決意し、徳島に戻って中学校の教壇に立ちました。しかし、教育現場でも、差別に苦しみ、傷ついている子どもたちの姿がありました。

私は、「子どもたちの心に響く同和教育とは何か」を問い続けながら、情熱をもって実践を積み重ねてきました。そして、クラスの枠を越えて学年・学校全体で部落問題について語り合う「全体学習」という、新しい人権教育のスタイルを創り上げていきました。本音で語り合うことは、自らをさらけ出すことでもあります。しかし、互いの勇気を受け止め合う中で、子どもたちの間には深い信頼関係が生まれ、大きな安心感が広がっていきました。

講演では、こうした教育実践や、2024年12月6日に放送されたNHKラジオ深夜便「人権インタビュー」で語った内容を交えながら、自らをさらけ出して執筆したエッセイ『スダチの苗木』に込めた思いや願いについて、お話ししたいと思います

山都町人権を考える町民の集い
主催 山都町同和教育推進協議会
山都町教育委員会
電話 72-0443